

南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
今まで協力いただいた先(判明している所のみ):長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ 配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

今日で東日本大震災から4か月 第一子と猫、時々 結婚&コラム 大地震に臆する事無く、3月17日無事に第二子が産まれました(≧ε≦) 2011/7/12(火) 午後 11:18

http://blogs.yahoo.co.jp/pure_mamotec/37789495.html

昨日で未曾有の大惨事を起こした東日本大震災から4か月が経った。

『“明治三陸沖地震”より死者・行方不明者は少なく21,185名にのぼっている』等と比べているメディアもあったようだが、比べるべきでは無いと思うのは私だけだろうか？

また昨日のTV番組で、岩手県陸前高田市の戸羽太市長が出ていた。

今回の震災で奥様を亡くされた市長である。地震発生5分前に普通に電話で会話をし、夕食の話などごくごく普通の会話をしていたそう。その5分後には連絡が取れなくなりました。

しかし、『“市長”という肩書がある以上、市民を守らなければならない』という信念のもと、災害対策本部を立ち上げ、市民の為被災者の為に翻弄した。戸羽市長曰く『私は良き旦那だったのだろうか。。。』と思いながら、それでも復興に向けて、行方不明になった妻を探すことなく市長職を全うしたそう。

自分自身、『自分に果たして出来るか？』と問うてみた。答えは『多分、出来るだろう』と私は頭の中でつぶやいた。

しかし冷静になって考えてみる。。。やはり無理だろう。そう簡単に出来る訳が無い。もし自分が戸羽市長と同じ行動を

取れるのならば、今この場所(ブログ)で戸羽市長関連の記事は書かないと思う。

東北でいち早く仮設住宅に着手し、陸前高田市から離れて行ってしまった住民に、『また戻って来て安心出来る街づくりをしたい』と躍起になって昼夜問わずして行動している市長を私は心から応援したい。

戸羽市長は言った。

報道の人やボランティアの人達がこの地に来て被災状況を見て、

『これはひどいねえ、大変だねえ、言葉を失うね・・・』

っていうけれど、みんな家に帰れば普通に生活も出来るし布団にだって寝れる。

でもこの市民はそうはいかない。これが現実なんです。

私の心の奥にぎゅっと突き刺さる言葉だった。

かくいう私も被災者の一人だと思っていた。でも今は普通に生活をし、普通に三食ごはんを食べ、普通に自宅の布団で寝れる。“普通”だと思っていた事が普通では無くなった時、こんなにも苦しいものか!?!と震災後1カ月は苦しんだし、普通にご飯を食べられる様になって、『幸せって普通に生活する事なんだ』って改めて知った。

でもそんな思いはいつの間にか忘れ去られていた。自分の中にそういった思いがあったのに、普通の生活がつづけばもう忘れていた。そんな自分を改めて見つめ直す事になる言葉だった。

■震災の報道番組やニュースは連日放送している。原発問題も含めて。

東北地方(宮城)に住む私にとっては間近で起こっている事だし、やはり震災関連のニュース番組やドキュメント形式の番組はなるべく見るようにしている。原発問題で立入が制限されている福島県浜通り地方。私にとっては、『子供を連れて墓参りも実家にも行けない』という思いがある。半ば強制的に避難を強いられている地元住民は私以上の思いなのは言うまでも無いと思う。また、今回尋常じゃ無い津波被害があった三陸地方や、相馬～名取、仙台市の荒浜など、震災前の映像が焼き付いている私にとっても大切なニュースなのだ。

■しかし、あくまでこれは地元の間人だからこそだと思ふ。反対意見も多数あるかと思ふがあえて言わせて頂く。

『全く今回の震災で関係していない人々にとってはいい加減止めて欲しいニュースなのでは?』と思ふ。偏見かも知れない、

被害妄想が強いのかも知れない。けれど今回の震災で『震災時には何をしなければならぬのか、事前準備するものは何か?』という考えは皆々もったと思うがそれ以上は無いような気がする。たしかに身内が亡くなって、住む場所が無くなって『かわいそう』って思うかも知れない。けれどやはりそれは“対岸の火事”でしか無いような気がする。すごく冷たい言い方も知らない。

『そんな事は無い、ちゃんと被災者の人達の事を考えてるし募金だってしている。お前にそんな事言われる筋合いは無い』と怒り奮闘のコメントもあるかも知れない。その方達には潔く私は謝罪する。

放射性物質をとってもそうだと思う。訳の判らない風評被害を被っている方々だって大勢いる。それで生計を立てていた方々には本当に辛い日々だと思う。でも実際私にはその“思う”事しか出来ない。でも福島からずっと離れた人達にとっては『〇〇産さえ食べなければいいや〜』程度で済ませる人もいると思う。全員が全員そうとは言わない。しかし実際に連日連夜、TV番組で垂れ流しをしては『いい加減、うざい』と思う人がいてもおかしくは無いだろうと思う。ニュース番組が悪いんじゃない。報道の在り方や統一性が無い会見や解説が私はゆるせないだけなのだ。

■福島第一原子力発電所の事故で、未だ行方不明の方々の捜索すら出来ない方々がいる。『避難して下さい』の一言で、原発事故について説明すらされず、『また津波が来るのか?』と思って3/11の深夜に着の身着のまま避難した方々だっている。自分の家があるのに帰れない辛さや切なさ。これは実際に被災した人でなければ判らないと思うし、こんな文章を書いている私だってそうなのかも知れない。どこか他人事で済ませている自分があるかも知れない。励ます事も応援する事も私には出来ないのだから。。。

それが無力だって知ってる。

でもそんな戯言よりも“3/10までの生活に戻りたいだけ”という切なる思いだけは分かっているつもりです。

どうか考えて欲しい。そして分かって欲しい。

皆に家族がいるように私達にも愛する家族がいます。ご先祖様がいます。

皆に愛する子供がいるように私達にも愛する子供がいます。

皆に雨風凌げる家があるように私達にも家があります。

皆が過ごした思い出の故郷があるように私達にも故郷があります。

普通に生活出来る事ががどれだけ幸せな事なのか今一度考えて欲しい。

※ 説教染み記事で気分を害した方々には心から謝りたいと思います。

#####

南相馬市から7月13日昼 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2011-07-13 11:23:57
<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/18515812e1d0ba3356463b0418735e35>

今、原町中央青果市場の株主総会から、帰ってきました。決算月が2月なので、22年度の売上はここ数年右肩下がりで、きていましたがやっと止まってきて、改善に向かうと思ったら、この震災で、大ダメージです。当店もそうですが、若干ではありますが、南相馬市の経済状況が上向きになってきたところで、他の企業も業績が良くなりかけていた時の震災ですから、本当に残念です。

市場も小高、浪江、など南の地域の買参人の方たちが、いなくなってしまうので、また今後も営業はできないので、このままでは元に売り上げが戻ることは期待出来ないようです。保障といっても、いつになるのやら、それまで、たくわえを切り崩して頑張るようですが、限界もあるでしょう。

あるNPOの小冊子から。

5月、枝野官房長官、岡田幹事長が南相馬市に現地視察にきました。(安全だ、万一を考えての予防処置だ。ただちに健康に影響を与えるような状況にない)と安全宣言を繰り返しながら、その時自分達のいでたち、服装はまさに(完全防備)岡田幹事長にいたっては、完全防御の上、ゴム手袋をしたまま、普通に作業着でいて素手を差し出す関係者と握手したそうですが、何が安全なのか?

そんな人の話を信じますか。自分たちの発言のうそを自分達の姿で暴露しているようです。

南相馬市から7月13日夜 2011-07-13 19:35:27

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/1ef86c08d8d80d7d09806125d8cf6ce7>

『災害ユートピア』

東日本大震災や原発事故への政府の対応が遅く、国民はひどく落胆した。そもそも政府に何かを期待し、まともになるように求める議論が間違っているのだろうか。いや、そうした議論は素晴らしいものであるはずだ。災害が起こってはじめて、人々は政府とは何か、政治とは何か、いったい政府に何が期待できるのかを知ることが出来るし、深く考えることになるからだ。

災害の後、市民のコミュニティーがより機能するようになり、政府に要求を突き付けるようになる。民主主義における政府の質の向上は、何と言っても国民の圧力の大きさいかんにかかっている。

たいていの民主主義社会では、人々が積極的に政治参加していないので、国民の事を眼中に入れず自己利益の追求に走る政治家が多くなるものだ。その意味でも、政府の過失を指弾し、国民への責任遂行を求める災害時の人々の怒りは極めて生産的なものと言える。また機能不全に陥った政府のひどい姿を見て、一体政府とは何かを考えるようになることも悪い事ではないだろう。

政府には向上するように求めながらも、完全な信頼は置かないと言うことだ。

南相馬市から7月14日朝 2011-07-14 05:09:18

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/bb92c5bf9a7a8b018864a641b21b055c>

この町の復興へ立ち上がるきっかけになるものは、どうらやお葬式のように。多くの人が亡くなりました。まだ行方不明の方もいます。

しかし、お葬式をきっかけにし、何かしらの、けじめをつけ、次に進むための大事な区切りとして大きな意義があるようです。

お惣菜が好調です、震災前からの状況ですが、震災後も客数が減少する中、お惣菜は売上が伸びています。

これからも、お客さんの期待に応えるべく、スチコンの導入を考えています。より安全で美味しいお惣菜を提供できるように、考えています。

水も販売量が増えています。アイスも売れています。放射能と暑さのせいですね。

男性客が増えているせいか、お酒の売り上げも増えています。

減っているもの、野菜、果物の売り上げは相当減少していま

す。いつになれば、この地の放射能の安全宣言が出来るのでしょうか？

そうならないと、野菜の販売が増えることはなさそうです。危険なもの、疑わしいもの、は食べない、購入しない、ごく当たり前のことです。

また南相馬市が有名になりました、牛肉のことで、大変なことです。今こそ正しい放射能の知識を持たないと、まだまだ続くようでは、復興は遠のくばかりの様で心配ですね。

#####

わが子を“がん”にするな … 晩発性障害

負けてらんない！ みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-07-14 09:27:38

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/d15af816d4280d3045e7b7652475d0d1>



放射線は 被曝する量に比例して
… “がん” を発症させます。

セシウムの半減期は 30年。
土壌から流れたりもするので 10年としても …
今から10年間は
ほかの県より“がん”になる人が 10倍増え
次の10年でも
10倍増える危険があります。

このままでは … 福島県は
「若年層がん多発県」になってしまいます。

「被曝しても ただちに健康に影響はありません」
「20ミリシーベルトまで 大丈夫」
と言い続けることは …
子どもたちの健康に関係し
福島県の未来を失う … ことを意味しています。

30年後の福島県を・・・
若年層がんが多発し 全産業が廃れ
人が安心してすめない土地にしてしまうのか。

それとも

元のきれいで安心して家族が住める福島県に戻すのか。

それは・・・これからの

われわれ福島県民の行動にかかっている・・・と思いますね。

#####

第 93 回全国高等学校野球選手権福島大会開幕

ゆっ太郎 (2011.07.13 09:30)

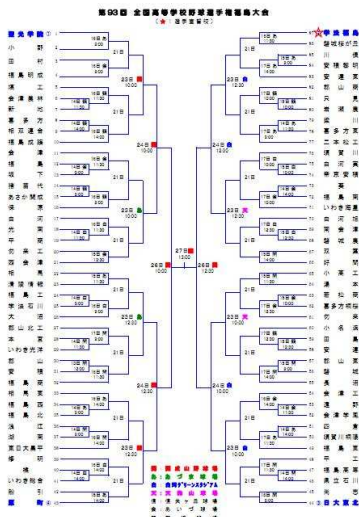
相双ゆたどさ ゆったりが、どっさり。～ふくしま相双～

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3356.html>

7/13(水)、午前。

郡山市開成山球場をメイン会場に

第 93 回全国高等学校野球選手権福島大会が開幕します。



相双地域からは 8 チームが参加。
2011 年、夏の甲子園を目指します。



浪江高校は、14(木)9:00 から
湖南(開成山球場)

新地高校は、14 日(木)11:30 から
会津農林(鶴沼球場)

相双連合(双葉翔陽・富岡・相馬農業)は、14 日(木)14:00 から
喜多方(鶴沼球場)

小高工業高校は、15 日(金)11:30
湯本(開成山球場)

相馬高校は、15 日(金)11:30 から
清陵情報(あづま球場)

双葉高校は、15 日(金)14:00 から
好間(開成山球場)

原町高校は、15 日(金)14:00 から
船引(あづま球場)

相馬東高校は、16 日(土)
福島西・福島北の勝者と(あづま球場)

と、それぞれ初戦を迎えます。

#####

第 2 回南相馬市復興市民会議の開催について

南相馬市ホームページ 最終更新日:平成 23 年 7 月 14 日

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/shinsai2/fukkoukaigi.jsp>

市では、今回の大震災や世界的に例のない原子力災害を教訓と受け止め、一刻も早く避難所生活や仮設住宅を解消し、被災者の生活復興を図るとともに、被災地域の復興はもとより、地域産業の再生と発展を目指し、原子力災害を克服して市民が安心して暮らし、働くことができるまちづくりに全力をあげて取り組む必要があることから、南相馬市復興市民会議を設立し「南相馬市復興ビジョン」並びに「南相馬市復興計画」を策定することにいたしました。

このたび、市内の各種団体代表者並びに学識経験者等で組織しました「第2回南相馬市復興市民会議」を下記のとおり開催いたします。 ※本会議は公開で行います。

1. と き:平成23年7月17日(日)
午後1時から
2. ところ:南相馬市民文化会館(ゆめはっと)多目的ホール

【問合せ先】

企画経営課 電話 0244-24-5223